

編集後記

24号には、論壇に8人の会員の原稿を掲載しました。ぜひ皆さまお読みください。会報も24号となり、毎年、半年おきに6月と12月に計2号を掲載することがようやく軌道に乗ってきました。6月の会報は、前年末に行われたシンポジウムの演者の方に講演内容について書いていただいた原稿を中心に、12月は会員の投稿による論壇を中心に纏め、掲載しています。

私事ですが、かれこれ10年近くウォーキングを続けていますが、東京の武蔵野台地を流れる川も用水も、東京低地を流れる川もほとんど歩き尽くしました。そこで現在は、富士塚のある神社を探して歩いています。江戸時代以降、富士山信仰が盛んになり、富士山に登る余裕のない人は、富士講なるものを形成し、毎年、代表が富士山に登る代わりに、他の人は地元の神社に富士山様の小山を作り、それに毎年登拝することで、同じ霊験があると信じられていました。都内の富士塚を主に探して歩いていますが、現在では100程あります。かつてはもっとたくさんあったようです。とはいえ現在でも相当数が残っています。ただ残っていても網罟いして中に入れないところもあります。しかし6月末から7月1日の山開きや正月3が日は可能なようです。ただ一覧表を見ていると何故だか分かりませんが、東京都の郊外に多いようです。その理由がわかると良いのですが。

(會田勝美)